

# 昭和23年～41年

## 定時制課程の設置と廃止

昭和23年、学制改革に伴い、岐阜県立益田高等学校に全日制の普通科・農業科とともに、定時制が併設されました。

元号(大正・昭和・平成)		22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
岐阜県立益田高等学校 (定時制課程)	小坂分校	普通科																																						
		湯屋分室										斐太高校通信制 小坂教室																												
		岐阜県益田厚生 第二授産所洋裁部										被服科 (別科、昼間1年)																												
		小坂町立服装学園(昼間制) 併設(昭和39.3.8)																																						
	中心校	普通科																																						
		昼間部2年課程被服科(別科)										家庭技芸 学級(別科)																												
	下呂分校	普通科																																						
		益田南高等学校定時制課程																																						
	金山(濃斐)分校	普通科																																						
		昼間制女子普通科																																						

昭和23年9月、中心校を益田高校、その他分校を小坂小、旧下呂青年学校、金山小学校に併設。終戦後勤労青少年に対する教育の機関は廃止され、当時義務教育終了後上級学校に進学しない数多くの青少年は混乱した社会の中で進むべき道を見失ってしまいました。これに対応すべく、益田高校に定時制課程を併設する声が地域からあがり、運動の結果昭和23年に定時制課程の設置に至りました。

**定時制創立五周年記念行事**  
昭和28年11月23日、第一回4分校対抗益田駅伝競走が開催された。総距離はなんと48km(小坂(金山間)にも及ぶ。その6日後、29日、4分校生徒会弁論大会が開催された。時代背景も相まって、走者には足袋で走るものも存在した。左の写真からは、走者たちの全力がひしひしと伝わってくる。各自かなり自由な格好で走っていたというが、それぞれが思い思いに楽しんだようだ。



### 在りし日の定時制

私達の歩んだ下呂分校  
昭和25年4月太平洋戦争に敗れて5年目、日本も復興の兆しは日に日に見張るものがあり、アメリカ占領下の中次第に民主主義が広がりつつあり、かつての軍国主義の独裁政治によって支配されていた人々も、自由と云う言葉と現実とを一步一步噛み締めて、自からの力で一生懸命生きようと努力をしておりました。私達同窓生は6・3・3制度が施工され、中学の義務教育も1年から3年迄全員が受けられると云う恵まれた環境の中で、相変わらず衣食には不自由でしたが、お互いに元気で卒業も出来、定時制高校への志望者も当時20数名の多きを数えました。  
今の様に高校進学率95%以上というような事はなく、50%以上60%以上の人が何らかの形で家計を支える為に働きに出たものです。  
(昭和28年度卒 今井嘉己)

### 定時制の閉校

- ・濃斐(金山)分校: 昭和36年4月1日、濃斐分校第4学年7名を下呂分校へ移籍し濃斐分校閉校
  - ・中心校: 昭和40年3月31日中心校閉校
  - ・小坂分校: 昭和50年3月31日、小坂分校閉校
  - ・下呂分校: 昭和49年3月31日廃止、同年4月1日益田南高等学校定時制課程発足
- (創立80周年記念誌より抜粋)